

授業科目 義肢学特論実習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	義肢
東 江 由起夫、月 城 慶 一 福 田 弘 和 他		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	60
【概要・一般目標：GIO】 義肢の専門的な技術を身につけるために、最新の義肢ソケットの製作適合技術、アライメントの調整技術、部品の調整技術等について学ぶ。また最先端の義肢部品の取り扱い方や調整方法についても学ぶ。さらに義肢の評価方法や分析方法についても学び、これからの義肢に求められる機能や構造について探求する。また特殊症例の義肢のアプローチや、製作適合技術についても探求する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 最新の義肢ソケット適合、アライメント調整が実践できる。 3. 最新の義肢部品の取り扱いと調整ができる。 4. 義肢の評価および分析が実践できる。 5. 特殊症例に必要な義足部品が選択できる。 6. 特殊症例に対するリハビリテーションアプローチを把握している。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）、最新の義肢ソケットと義足部品			1	説明
2	最新の義肢ソケットデザインの概念と適合概念			2	実習
3	アライメントの適合概念			2, 3	実習
4	義肢部品の構造、機能、特性			3	実習
5	最新の義肢の評価方法と調整方法			4	実習
6	義肢の評価方法と分析方法			4	実習
7	義肢に求められる機能			5	実習
8	特殊症例に対するアプローチ			6	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢学 日本義肢装具学会監修	澤村誠志編、鋤園栄一ほか 監修	医歯薬出版	1988
		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版	1999
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 適合評価50％、カルテ評価50％。			【履修上の留意点】 原則、授業の1／3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。 遅刻2回で1回の欠席とする。 最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。		